

今、私たちにできること

武蔵野市立第一中学校

一年

小野

紗也加

私は、だれもが住みやすい街にするために
 できることとしてボランティア活動ができる
 と考えます。ミニユニイセンターの祭りの
 お手伝いなど私たちが積極的に参加すること
 が少しでも地域のためになるのではないかと
 思います。今後、機会があれば参加していき
 たいと思います。

武蔵野市では、高齢化が進んでいます。六
 十五才以上の人口比率は約三十二パーセント
 と、練馬区や三鷹市、小金井市から五パーセン
 ト以下であるのに対し、高いことか分りま
 す。また、将来はもっと増えることが予測さ
 れています。高齢化が深刻になる可能性もありま
 す。普段、生活していても高齢の方が多く
 いらっしやるなど感じたこともあります。近
 代的になっていく社会に対し、固ることもた

くさんあると思います。そこで、私たちが声をかけ、お手伝いをするなと思います。そのある行動をすることかできると思っています。そして武蔵野市があたたかい街になると良いなと思います。

その他にできることとしてごみの量を減らすなどのエコ活動が考えられます。ごみ問題についてほうめ立て地がなくなってしまうのではないかなという様々な問題があります。具体的な策としてマイバツワの持参やムカ使

いをなくすなどがあげられます。私は、ついペットボトル飲料を買ったり、わりばしをつけてもらったりと便利だからとい、てしてしまっていることが今思うと多々あったなと感じます。水筒を持っていくなどこれからは気をつけていこうと思います。最近、近所のコンビニエンスストアやレストランでもストロークが廃止されていたり、わりばしやスプーンなども必要な人だけ取れるようになってきたり様々を取り組みがされていきます。一人一人が意識して

地域全体でごみ問題に取り組み、ごみをもつと減らし、いけるとより良い未来につなげるのびはないかと思ひます。

私たちは未来の武蔵野市を支えていく存在であるともいえます。未来の武蔵野市を今よりもっと良い街にするために、やはり勉強をすること、そして色々な経験をすること、大切であると考えます。私たちは五年後、十八才になつたら、選挙権を得ることになります。とはい、でも、今の時代、選挙にあまり興味

がなく、投票率が低いことが問題にもなつています。特に若い人の投票数が少ないといわれ、ていします。そこで、将来選挙権を得る私たちが今から選挙に興味を持ち、政治などのことについて知るといことが重要であると考えます。今から政治のこと、社会のことなどに、ついで学び、よく理解していきたいと思ひます。そして、将来武蔵野市を引、ほ、ていくのに、ふさわしい方を選んでいけたらなと思ひていします。その結果、武蔵野市がよりよい街

になるのにつながるのではないかと考えました。

このように、今回私たちにできることはた
くさんあるのだと分かりました。武蔵野市は
住みよい街ランキンゲンでも上位に入るほどす
ばらしい街です。私か生活していて、そのこ
とはとても実感しています。そんな誇れる街
「武蔵野」を未来に受け継いでいく。そして
今よりも、と良い街にしていくために、私が
できることを行っていき、少しでも力になれ
るようにしていきたいと思います。